

若手コンクール入賞選手に聞く

それぞれの現場で活躍

東京都溶協

東京都溶接協会（横田文雄会長）が開催する若手人材育成溶接コンクール。優勝の中村翠選手、6位の吉澤あずさ選手、7位の山崎敬介選手は、都立城東職業能力開発センター（足立区）でも溶接を学び在学中に大会に出場、この春からそれぞれの職場で活躍し

話題

ている3人に話を聞いた。

中村さん・溶接はまったくはじめてだったが、ものづくりが好きだったこともあり、センターの溶接コースを受講した。現在8歳と3歳の子育てをしながら、今年から都内で金属加工や溶接技術指導を行う中小企業で働いている。納期がある仕事はシビアだと感じているがやりがいがある。

吉澤さん・フリーの

デザイナーとして看板製作などを手掛けている。

る。仕事の幅を広げたいと思い溶接コースを受講した。溶接を学ぶことで物の構造が分かるようになった。いつ

かは溶接機を自分で保有して製作に使いたい。

山崎さん・3月からJRの鉄道車両関連企業に就職した。城東センターに入る前は自転車店の店長をしていた。城東センターでの受講中はお互い励まし

あい切磋琢磨しながら溶接を学ぶことができ。今後も溶接技能をさらに高めていきたい。



左から吉澤、中村、山崎さん